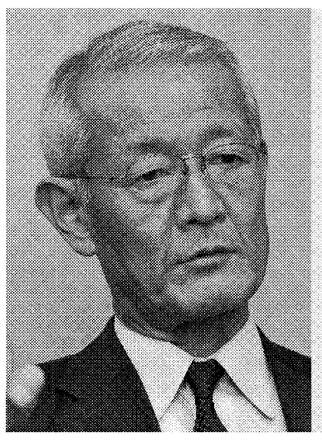
川口・戸田・蕨・鳩ケ谷 県南4市 トップインタビュー

2010年11月、川口商工会議所は任期満了に伴い、役員・議員を改選した。会頭には、児玉鋳物の児玉洋介社長が就任。直後に所内の組織も再編し、厳しい経済環境を乗り越えるべく新たなスタートを切った。

新体制は、鋳物など伝統産業と次世代の産業が共存する『新産業文化都市』を、理想のビジョンとして掲げている。その実現に向け、今後の道筋をどう示すか。児玉会頭に展望を聞いた。

ボトムアップの組織へ改革



川口商工会議所　児玉洋介　会頭

―就任早々、会議所内の組織を再編しました。

「今まで4つだった常設委員会を6つに増やし、事務局の課も5つから6つにした。1委員会に1課がつく形だ。従来は委員会を持っていない課があり、職員と議員の間で親密さが足りない部分もあった。再編により、これを改善できると思う。また、全体的に今までではトップダウンの方式が中心だったが、今後は取り組みの詳細を各委員会で検討してボトムアップする仕組みにしたいと思っている」

「新たに設けた広報委員会と情報推進課は、広報関連の仕事に専念させる。会員内でも、会議所の活動を余り理解していない方々がまだ多い。現在は広報誌『MOVE（むうぶ）』などで情報発信しているが、会員大会などの出席者数は、加入者全体の数から考えると少ないと言わざるを得ない。また、川口の街づくりに貢献するという意味では、50万人を超える市民にも存在を知ってもらう必要がある。専任の委員会と課を設けたことで、情報発信力を強化する。結果として、会員拡大にもつなげたい」

「もうひとつ新設した業務委員会と、会員サービス課から改称した業務課は、各種保険の手数料など収益事業を担う。従来はこの収益事業を、関連する委員会や課が個別に実施していた。1つの委員会と課に集約することで、効率が大きく高まるだろう」

―ことし最も力を入れたいことは。

「川口市は、素形材産業から加工や組み立てまでモノづくりの全てがそろっているのが強み。とはいえ私自身も、鋳物、機械、木型など関連する業態の企業についてはよく知っているが、それ以外に関しては分からないことがある。従って、ことしは既存企業同士のPRをもっと促したい。商工会議所でならば、オール川口のモノづくり企業が一堂に会して話をできる。コーディネーター的な機能を強くするため、会員名簿である『商工名鑑』のリニューアルを検討中だ。インターネットなどに対応させ、より多くの人が閲覧できるようにしたい」

―昨年12月に、『川口i-mono（いいもの）ブランド』として、新たに4つの製品を認定しました。

「認定品については、広報媒体への掲載などさまざまな場面でPRしていきたいと思っている。今後は、ブランドそのもののステータスをさらに高めることが必要。そうすれば、応募レベルの向上にもつながるだろう」

―会議所としての課題は。

「川口にはかつて約6000社のモノづくり企業があったが、06年時点の統計では4500くらいにまで減っていたという。リーマンショックを経た現在は、3500を切ってしまっているかもしれない。地域内の各協同組合などでは、会員数の減少が深刻。金銭面などで、運営がかなりタイトになっているのが実情だ。当会議所も同様の問題を抱えており、それを阻止するためは新しい企業の誘致に力を入れなくてはいけない」

―地域の将来像として〝新産業文化都市〟を掲げていますね。

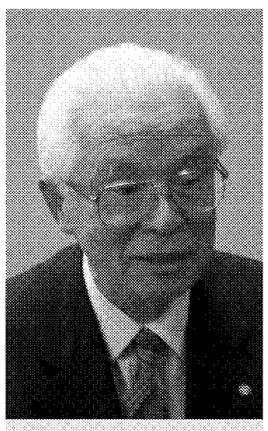
「市内に所在するSKIPシティ『彩の国ビジュアルプラザ』には、機能の充実した撮影機器がそろっている。また、同SKIPシティ内の『NHKアーカイブス』は、魅力ある映像を数多く保管している。今後はこれらを積極的にPRして、映像産業の活性化を図っていくべきだろう。撮影機器は数年ごとにある程度更新しないと陳腐化してしまうので、埼玉県がもっと予算を増やし、支援に力を注いで欲しいと思っている」

「もともと次世代産業拠点としてSKIPシティが出来上がったのは、当会議所内の専門委員会が、基本構想を県に提出したことがきっかけ。私も当時、副会長として積極的に働きかけた。会頭という立場になった今、改めて行政にさまざまな要望を伝えていきたい」

―日本のモノづくりの現状に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

「我々中小企業は、現実としてほとんどが大企業の下請けで事業が成り立っている。だが、今の1ドル80円前後という為替レートが定着してしまうと、大手のさらなる海外移転は避けられない。そうなれば、将来的に日本のモノづくりは無くなってしまうだろう。政府は、もっと本腰を入れて為替対策に取り組むべきだ。国内に量産が残ってこそ、創意工夫により新しいモノを開発する力も維持できると言える」

市内産業のPR強化を



戸田市商工会　熊沢嘉孝　会長

―市内には、多くの印刷関連企業が集積していますね。

「戸田市は東京都に隣接しており、物流の面で非常に恵まれている。戦後、まず運送業が発展し、多くの倉庫ができた。その後、印刷機の大型化により、都内の工場では手狭になった印刷業者が次々と戸田に移ってきた。また、それに伴い製本やラミネート加工など印刷に関わる企業も入ってきた。現在250社近くの印刷関連企業が立地しており、分野別の企業数は市内で最も多い」

―商工会として力を入れていることは。

「金融機関の紹介など、資金面での企業支援が主な事業。同時に、近年は市民の方々と交流を深める活動にも注力している。地域内で商工会の存在感を高め、会員増強につなげるのが目的だ。毎年開いている『商工祭』の来場者も増えている。30回目を迎えた昨年は、約6万人もの方々に来ていただいた」

―現況についてお聞かせ下さい。

「出版業界は、インターネットの普及や電子書籍の出現などにより、総じて厳しい状況。とはいえ、部数の減少はあっても完全に無くなることはないと思う。今は、どんな業態に変わっていくかの過渡期だと言える。地域内の企業も、最新の機械を導入して合理化を図るなど、それぞれ工夫を凝らして頑張っている」

―市に対して、求めたいことはありますか。

「市内の産業を外部へPRする取り組みを、もっと強化してほしい。市外企業との取引が増えれば、経済活動が活発化して税収も増えるだろう。ホームページを充実させることなどに、もっと投資すべきだと思う」

巡回相談で企業をきめ細かく支援

蕨商工会議所　田中正二　会頭

―蕨市産業界の特色をお聞かせ下さい。

「1893年に開業した蕨駅の周辺に広がる商店街が、市内産業の中心。明治時代から続いているので、長年培ってきた地力のある商店街だと言える。業態の幅も比較的広い。だが、リーマンショック以後の個人消費低迷などで、各店の業況は厳しいのが現状だ」

―苦境打破に向け、取り組んでいることは。

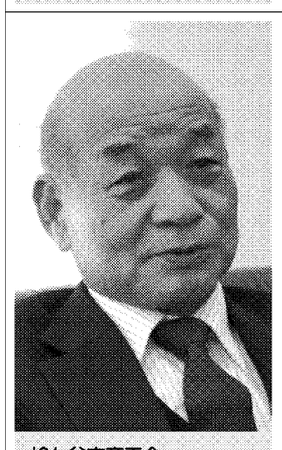
「外部からコンサルタントを招き、若手経営者向けの経営革新塾を開いている。昨年11月から12月にかけ10回シリーズで開催したが、当初設定した定員を上回る方々の参加があった。中期経営計画策定に向けた勉強の場を提供し、中小企業新事業活動促進法に基づく認定取得を助けるのが目的だ」

「昨年後半には市内の各商店街が中心となり、一般社団法人『蕨市にぎわいまちづくり連合会』が発足した。計13の商店街が〝まちづくり会社〟として一つになった格好だ。この組織がうまく行けば、地域再生に向け大きく前進できるだろう。当会議所としても、同連合会との連携を深め、新しい商店街の形成に寄与したいと思っている」

―市西部の錦町周辺には、ミニ工業団地が立地していますね。

「大部分が、従業員数5人以下の下請け加工業者。価格競争などで厳しい状況が続いている。このため、そのような企業を対象とした経営改善普及事業には、特に力を入れている。会議所へ相談に来る時間的余裕の無い事業所が多いので、こちらから出向く巡回相談を実施している。今後も、このようなきめ細かい支援を継続していきたい」

50周年事業で存在意義の確認へ



鳩ケ谷市商工会　小原貞次　会長

―現在力を入れていることは。

「経済対策として、地元商店の活性化に取り組んでいる。3月には、市から補助金を受け、地域内で使えるプレミアム商品券を発行する予定だ。鳩ケ谷のご当地グルメ『ソース焼きうどん』の普及活動も引き続き展開する。2001年に埼玉高速鉄道線が開通して以来、鳩ケ谷市の人口は急増した。このような新しい市民の方々に地元の商店街を知って貰い、地域内での消費を促したい」

―モノづくり企業も集積していますね。

「隣接する川口市と同様、鋳物業者や機械加工業者が中心。近くに埼玉県産業技術総合センターがあり、研究開発の面で恵まれた立地条件にある。また、基本的に工業はメーカーと下請けなど縦のつながりが強いが、今後は地域内でより密接に連携を取って、助け合うことが必要だ。当商工会では市内を東西南北の4ブロックに分け、それぞれ交流会などを開いて異業種間で情報交換できるよう努めている」

―市にはどんなことを要望していますか。

「公共施設のリフォームや器具の交換に関して、地元業者に優先発注するよう求めている。結果、市は昨年12月に鳩ケ谷市地域経済活性化緊急対策として各施設の整備事業を開始し、市内の企業が受注している」

―ことし6月に、創立50周年を迎えます。

「専任の委員会を立ち上げて、式典開催や記念誌作成を始め盛大な記念事業にすべく準備している所だ。川口市との合併が現実味を帯びている今、鳩ケ谷市商工会としての存在意義を再確認するためにも、特に力を入れたいと思っている」

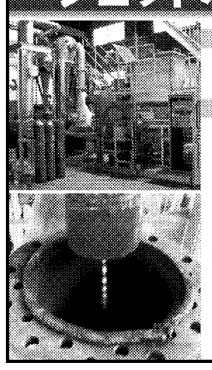
川口の市内企業を応援します

当公社では、地場産業の振興と地域経済発展のため、市内企業・地場産品の紹介など川口の産業の情報を発信するとともに、展示会出展及び特許出願審査請求に対する助成金、新製品開発振興に対する奨励金制度や商談会の開催、取引の斡旋なども行っております。

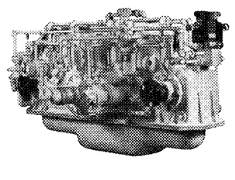
財団法人　川口産業振興公社
〒333-0844
埼玉県川口市上青木3-12-18　埼玉県産業技術総合センター 7階
TEL048-263-1110　FAX048-262-8882
http://www.kawaguchi-net.or.jp

「鐵は赤いうちに打て」
鍛造一筋!
「至誠通天」の姿勢で経営、
ユーザーから高い信頼を得ております。
永年の技術と経験　徹底した品質管理
（一般鋼材・チタン・ステンレス・他）
株式会社 川口鍛工所
〒334-0076 川口市本蓮4-1-15(川口新郷工業団地内)
☎ 048(285)6611(代表)　FAX 048(285)3310
E-mail kawatan@violin.ocn.ne.jp

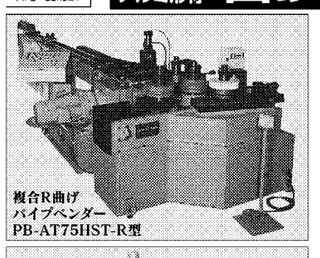
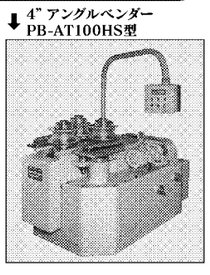
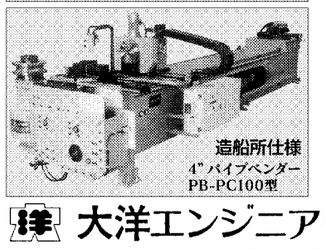
《表面処理の新時代》
金型の磨き.抜け性.耐久性を改善
6面加工プレート　機械加工全般
福岡スチール株式会社
川口営業所 埼玉県川口市江戸袋2-7-2 電話 048-285-8221(代) FAX 048-285-8225
宇都宮営業所 栃木県宇都宮市下栗1-23-22 電話 028-651-1330(代) FAX 028-639-0665
E-mail : fukuoka@bf6.so-net.ne.jp

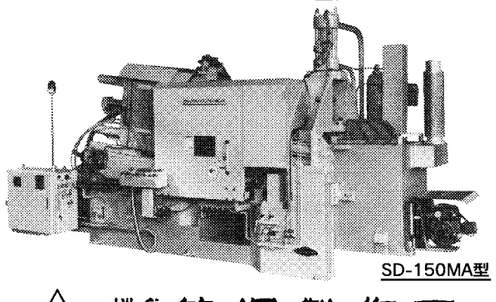
廃棄物処理プラント　空冷式衝撃波破砕・脱水・乾燥装置
ジェットバーナー・システム

装置の原理
ジェットフレームにより、燃焼ガスを先端から超音速で噴射し衝撃波により処理物を破砕・粉砕・脱水・乾燥を同時にする。
システムの特徴
・コンパクト設計で、処理物の取り出しが容易である。
・燃やさず粉砕処理を行うため、可燃性材料の燃焼がなく安全性に優れている。
・熱効率・処理能力が高い。
三央産業株式会社
本社・第一工場　〒332-0004 埼玉県川口市領家4-9-33
TEL:048-222-0803／FAX:048-222-0139
http://sanou-sangyou.net/

加工&組立 お引き受け!!
― 図面さえあれば素早く製品化 ―
加工
●横形MC（900×800×850）（700×700×630）
●立形MC（900×350×400）
●NC横中ぐり盤（1,600×1,250×1,130）
●NC旋盤（φ620×1,600ℓ）（φ380×1,100ℓ）（φ250×600ℓ）
●その他フライス盤、旋盤等
組立
●各種機械（大物～小物）の加工～組立まで一括受注
沼口機械工業株式会社
〒332-0032 埼玉県川口市中青木2丁目6番1号
TEL (048) 251-5784(代)　FAX (048) 251-5726

最新技術 と 最新設備
銅合金・ステンレス・アルミ・他各種鋳物
遠心鋳造法 だから
◎木型は不要 ◎組織は均一
製品重量 0.1kg～6トンまで　単品から量産品まで!

諸機械設計製作
歯車減速機
船用軸系装置
その他一般機械

短納期の御用命を承ります、御一報下さい!!
石川金属機工株式会社
本社・工場 〒334-0075・埼玉県川口市江戸袋2-2-18 TEL048(285)2411(代) FAX048(285)2416
鳩ケ谷工場 〒334-0013・埼玉県鳩ケ谷市南3-26-3 TEL048(284)5181(代) FAX048(284)5183
横浜支店 〒231-0046・横浜市中区末広町2-3-1 TEL045(242)8855 FAX045(242)8810
URL http://www.isikin.com/

PB PIPE BENDER　パイプ・型鋼 アルミ形材 曲げ加工専用機

複合R曲げ パイプベンダー PB-AT75HST-R型
造船、車両、カーポート、大型テント、ビニールハウス
4" アングルベンダー PB-AT100HS型


造船所仕様 4" パイプベンダー PB-PC100型
大洋エンジニアリング株式会社
本社・工場　〒334-0073　埼玉県川口市赤井2-4-22
☎048(288)5015(代)　FAX048(282)7577
●横浜 ☎045(573)8743　●大阪 ☎06(6745)5552
●中部 ☎0581(22)6437　●四国 ☎0898(24)0382
http://taiyo-e-bender.com

ホットチャンバー式 油圧式、全自動
ダイカストマシン
SHINOZUKA
マグネシウム
亜鉛
マグネ革命!
高価なマグネシウム部品が圧倒的に安価で作れる画期的ダイカストマシンが誕生しました。
ホットチャンバーのトップメーカー、当社が世に問う自信作、型締力150トンのSD-150MA型。

SD-150MA型
株式会社 篠塚製作所
本社・工場 〒332-0021 川口市西川口6丁目14番6号 TEL048(252)5977(代) FAX048(252)5982
柳崎工場 〒333-0861 川口市柳崎2丁目17番19号 TEL048(261)0221(代) FAX048(261)0222
浦和工場 〒336-0923 さいたま市緑区大間木1770の1

研削加工

精密研削加工
平面・円筒
内面・NC成形
半導体、液晶製造装置部品、精密計測器部品、航空宇宙部品、工作機械部品 など
内田精研有限会社
〒334-0013 埼玉県鳩ヶ谷市南7-17-24
Tel:048-281-4987　Fax:048-286-2493
e-mail uchida@uchida-seiken.com
URL http://www.uchida-seiken.com